木島平村 第6次総合振興計画 概要版



木島平村

平成27年度~平成36年度 前期基本計画 平成27年度~平成31年度



村長あいさつ

木島平村は、平成16年3月に市町村合併をせずに自立の道を 選択しました。これを受けて、平成17年4月から始まる「一人 ひとりの"ずく"と"協働"でつくる村づくり」を基本理念とする 自立プラン並びに第5次総合振興計画を策定し、村民との 協働を高める政策を基に産業振興や福祉対策を行ってきました。

第6次総合振興計画は、平成27年度から36年度までの10年間の計画で、「これからの農村を生きる~みんなで楽しみをつくりだす村~」をスローガンとしました。これは、木島平村という農村を生きるにあたって、活動の原動力となる"楽しみ"を生み出しながら、住みやすい村を実現させていくという意味が込められています。

これからも、先人から引き継いだ、村の自然、歴史、文化を大切にしながら、本計画の実践により、「木島平に住んでよかった」「木島平にこれからも住みつづけたい」「木島平に住んでみたい」と誰もが心から実感できるむらづくりを目指し、人口減少問題等の課題に取り組んでまいりたいと思います。

本計画の策定にあたり貴重なご意見・ご提言をいただきました 村民の皆様、熱心にご審議いただきました振興計画審議会、 村議会をはじめ関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、 今後も、村政の円滑な推進にご理解とご協力をお願い致します。

木島平村長 日臺正博

目 次

1	総合振興計画の策定趣旨4
2	総合振興計画の策定にあたって5
3	総合振興計画の構成6
4	総合振興計画の基本構想7
5	総合振興計画の基本目標・基本計画8
6	地区づくり計画各集落テーマ16
7	みんなの村づくり集会の提案 18



みんなの村づくり集会の様子



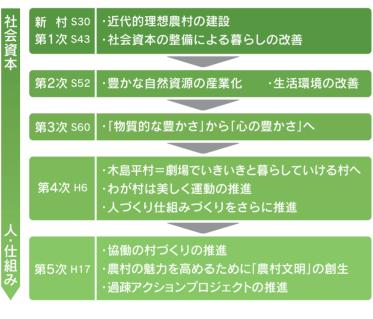
自主会の様子

総合振興計画の 策定趣旨

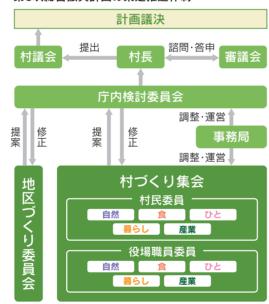
意義

木島平村でこれからも暮らしていくために、今まで 進めてきた施策の成果を踏まえ、限りある地域資源 を最大限に活用することが求められます。そのため には、行政はもちろん、村民自らも公共的なサービ スの担い手として、新しい活動主体となり、計画に 基づいたアクションを起こす流れをつくることが 必要となります。また、木島平村の生活、伝えられて きた文化、暮らしの良さをもう一度見直し、さらに 発展させていくことが求められます。農業を基盤と した都市とは異なる理念に基づき、木島平村で生活 する一人ひとりが[木島平村に住んでよかった]、 「木島平村に住み続けたい」と実感できる村づくり に向けて、第6次総合振興計画を策定しています。

木島平村総合振興計画の歩み



第6次総合振興計画の策定推進体制



木島平村 第6次総合振興計画

村づくりの将来像と基本となる考え方を明らかにしたもの [基本構想]に書かれていること

- 将来像と基本目標 構想の期間 基本構想の構成
- 基本構想の推進

基本計画 前期:H27(2015)~H31(2019) 後期:H32(2020)~H36(2024)

村づくりの理想像を実現するため、

基本目標や事業を分野別に整理して体系的に示したもの

[基本計画]に書かれていること

● 基本計画体系 ● 基本計画 ● 集落別体系図

実施計画 H27(2015)~H31(2019)

基本構想、基本計画を実現するための事業を示したもの。

地区づくり計画 前期:H27(2015)~H31(2019) 後期:H32(2020)~H36(2024) 地区づくりにおける10年後の地区の将来像や | 「地区づくり計画」に書かれていること 実現するための事業を示したもの。前期・後期の 5か年の地区づくり計画を明示し、村の財政計画 と整合性を取るために毎年見直しを行う。

- 地区づくりのテーマ テーマの背景
- ●テーマの内容
- 地区づくり事業

総合振興計画の 策定にあたって

木島平村の人口推移

平成2年(1990年)には、5.887人でしたが、人口の 減少により平成22年(2010年)の国勢調査では、 5,000人を割り4,939人となりました。また、今後の 推計値では、平成37年(2025年)には4.003人に、

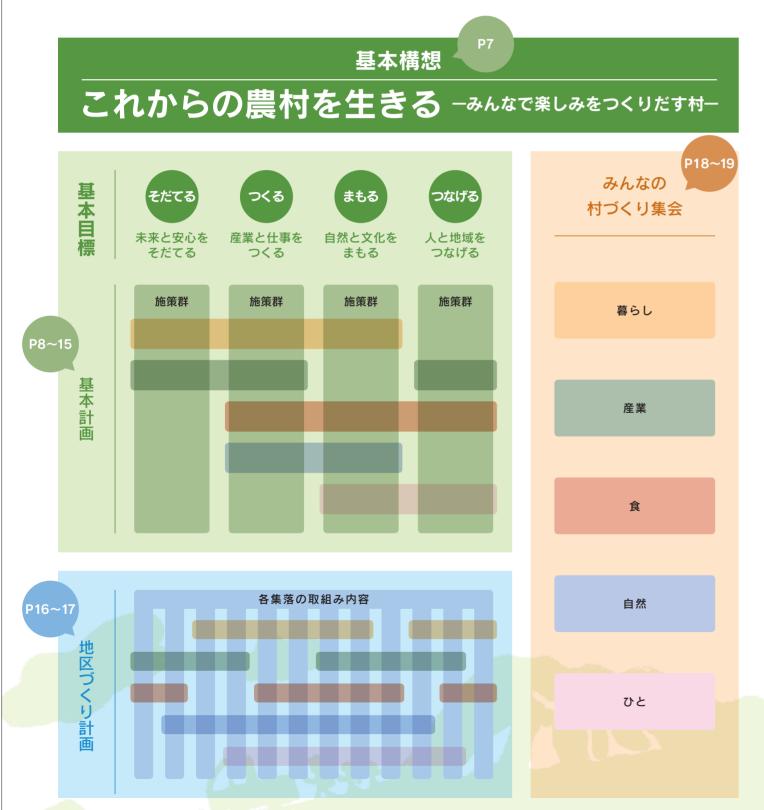
平成52年(2040年)には3,212人に減少すること が予測されます。人口の減少は、村づくりを進める 上での大きな支障となります。第6次総合振興計画 では、人口の減少を抑え、持続可能な村づくりを進 めることが必要となります。

木島平村の現況

木島平村の 産業について	木島平村の第1次産業の就業人口は、平成 2年(1990年)に対し、平成22年(2010年) の人口は半減し、第3次産業へと変化して います。農業従事者の高齢化と担い手不足 によって、山間部を中心に荒廃化が進行し、 深刻な状況にあります。	空き校舎等 公共施設利活用と 過疎アクション プロジェクトの 一体的な取り組み	小学校統合と保育園統合により利用しなくなった校舎と園舎の有効的な利活用と、移住定住、産業創出、人材育成を一体的に取り組んできました。
土地利用	平成26年(2014年)現在、木島平村の総面積9,931haのうち83%が山林、10.3%が農地、1.5%が宅地となっています。農用地については、平成21年(2009年)か	農村文明塾による 継続的な 基盤づくり	平成22年度(2010年度)から「農村 文明塾」が本格的に実施されていま す。村民と都市住民との交流を通じ て、各種事業を行ってきました。
ら平	ら平成26年(2014年)を比較すると、耕作放棄地が10.6%拡大しています。		平成23年度(2011年度)から始まった「大学コンソーシアム木島平校」
観光地利用について		大学連携による 若者との交流	では平成26年10月までに24大学から延べ180人以上の学生が参加し、 農山村での「環境」「暮らし」「産業」 を学びました。
伝統文化の継承	木島平村に伝わる伝統や文化を子ども たちへ継承することが困難な状況になり つつあります。そのため、農村の伝統文化・ 風習を保存、継承する取り組みとして「農 村学講座」を開催してきました。	新幹線開通による 交通アクセスの 改善	平成27年(2015年)3月14日に北陸 新幹線の飯山駅が開業。木島平村を 含めた信越9市町村が一体となり、 広域観光や、地域の各種産業の振興 策に取り組んでいます。
少子高齢化問題	1人の女性が生涯に産むと見込まれる子 どもの数を示した「合計特殊出生率」は、 平成10年度(1998年度) ~平成14年度 (2002年度)の1.68を皮切りに、平成20 年度(2008年度)~平成24年度(2012 年度)の1.47と低下し人口を維持できる 水準とされる2.07を下回っています。	木島平村の 財政状況	本村の財政状況は、歳入は村税などの自主財源に乏しく、歳入の大半を地方交付税や補助金など国や県に依存した状況が続いていますが、財政の健全化を判断する指標は年々改善され、後年度への負担を強いない財政を堅持しています。

3 総合振興計画の構成

第6次総合振興計画では、基本構想、基本目標・基本計画、地区づくり計画、みんなの村づくり 集会の提案を関連づけた構成になっています。詳細については、次ページ以降でご紹介します。



4 総合振興計画の 基本構想



木島平村には、豊かで美しい自然、地域の中で育まれてきた伝統文化、豊富な地域資源を生かした産業、安心安全な食、世代間で支えあう人々など、たくさんの魅力があります。これらを維持し、未来の子どもたちへ引き継いでいくために、村民同士の助け合いがより一層求められます。

【これからの農村を生きる】には、日本全体で社会・経済環境の変化や価値観が多様化している中で、 【木島平村=農村】に暮らしていくということがどういうことなのか、村民の皆さんに見つめなおして欲しいというメッセージが込められています。まさに、都市にはない木島平村だけにある価値や新しい取り組みを生み出していくために、行政だけではな く、村民や各団体、そして集落が自ら原動力となり、 地域を動かし、村を動かし、社会を動かしていくと いう想いがつながっていきます。

サブタイトルは、【みんなで楽しみをつくりだす村】 と定めます。木島平村では、今後、人口の減少、産業 規模の縮小など喫緊の課題に直面してくことが予測 されています。その中で、重要になるのが、この村の 暮らしの中に【楽しみ】を見出すことです。【楽しみ】 は、様々な活動の継続性や人のつながりを生み出す 源になります。【楽しみ】を暮らしの土台とするこ とで、これからを木島平村で暮らし続けていきたい との想いが深まります。



一総合振興計画の **基本目標·基本計画**



未来と安心をそだてる

そだてる視点の方針は、「未来と安心をそだてる」です。 今後の未来も子どもをそだてながら安心して生きていける村を目指します。

子育てと教育の村づくり

施第1

健やか子育て支援の 村づくりの推進

更なる少子化社会の中、家族や仕事の条件に 関わらず、誰もが安心して子どもを産み育て られる村を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
出生数	32人	28人

施策2

木島平型教育の推進

質の高い学びを一貫して追い求めることを通 して、子どもたちに生涯にわたり学び続ける ための基礎力を養う教育を目指すと共に、小 中一貫教育と学校のコミュニティ化によって 更なる充実を図ります。

項目	現況(H25)	目標値(H31)
コミュニティ・ スクール活動回数	年0回	年12回





施策3

幼児教育の推進

- ・幼児教育を取り入れた保育を展開するには 保育の質を高めることが必要となります。保 育士の定期的な研修の他、大学との連携に よって指導、助言を受ける体制を確立します。
- ・幼児期からの遊びや学習を通して、人間とし て社会性を身につけるとともに、次代を担う 子どもたち一人ひとりが、伸び伸びと健やか に育つ環境の充実を図ります。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
保育所入所人数	142人	160人

総合的な子育て支援の推進

子育て世代を総合的にサポートし、地域全体 で子どもを支える村を目指します。

項目	現況(H25)	目標値(H31)
出生数	32人	28人

暮らしやすさが実感できる村づくり

施策5

インフラ整備と交通確保の推進



村民が安心して生活を 営めるよう、生活基盤 となるインフラ整備及 び公共施設等総合管理 計画にもとづいた計画 的な維持保全事業の推 進を図ります。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
村道の歩道延長	6.9km	7.3km
デマンドバス 利用者数	18人/日	20人/日

安心安全な村づくりの推進

行政、地域、消防団がそれぞれの役割を担い、

日頃から災害に対する備えをしながら地域 全体で災害に強い村づく りを進めていきます。一人 ひとりの意識と家庭や地 域ぐるみの防犯活動を行

い、安心安全な村づくりを 推進します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
村民ぐるみの 地域防災体制の整備	5地区	15地区

誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり

いきいきライフの推進

地域でのつながりを持ちながら、誰もが仲良く 健康で暮らせる村を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
要介護認定率	16.9%	18.7%
生きがいや やりがい(趣味)を 持つ人の割合	65%	80%

施策8

健康長寿の村づくりの推進

村民自ら健康づくりをし、いくつになっても 健康で仲良く暮らせる村づくりを目指します。 施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
特定健診受診率	50.4%	60%

地域医療の確保

病気や介護になっても、安心して在宅で暮ら せるよう地域医療の確保と連携を進めます。

項目	現況(H25)	目標値(H31)
村内医療機関の数	3	3





産業と仕事をつくる

つくる視点の方針は、「産業と仕事をつくる」です。村民が支えあいながら、 地域の資源を生かした産業と仕事をつくりだせる村を目指します。

農を基軸とした交流の村づくり

施策10

情報通信を活用した快適な生活

情報通信技術を活用した快適な生活の実現と、 災害に強い情報通信の構築を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
ICT技術を活用した 快適な生活	事業計画	60%
情報の複層化による 災害への対応	30%	100%
新情報通信施設の 整備と活用促進	事業計画	100%

施策11

農村ビジネスの創出

農業農村の持つ多様な価値を、生産者自体が深く 理解し外部に発信するとともに、その価値をビジネスとして展開していく事により、交流の拡大にもつなげ、所得の向上及び雇用の拡大を目指します。 施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
農業農村を活用した ビジネス(法人数)	23	25

※村内に住所があり、農産物等の生産、販売、加工製造、木島平観光㈱、直売所関係を含む)



施策12

滞在型観光の推進

観光資源やスポーツ施設等の活用にとどまらず、 農業体験など農村ならではの資源等も積極的に 活用しながら、一定期間木島平村に滞在をいただ くような交流の形態を目指します。近隣市町村と 連携し、広域的な観光を推進します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
観光客入込数 (観光地利用統計)	268,000人	300,000人
スポーツ大会滞在者数	1,800人	2,000人
農村体験来村者数	1,700人	2,000人

施策13

商工業の振興と新しい産業の創出

現在の商工業の規模を継続させながら、新たな 産業の創出を目指すとともに、村内消費の拡大を 推進し、各商工業者の後継者確保と経営安定を 確立します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
工業出荷額	2,295百万円	2,300百万円
商品販売額	4,083百万円	4,200百万円
商業者数	47事業所	48事業所
工業者数	12事業所	12事業所





施策14

農業の

6次産業化の推進

農の6次産業化施策を推進し、村農産物の直売、加工、飲食、流通、販売の新たな循環サイクルを確立し、地域経済の活性化と雇用の拡大を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
農業6次産業化推進 による農家所得の 向上を目指す (平均生産農業所得)	1,147,000円	1,261,000円

※農林業センサス(①農業算出額13億3千万円を基本に②生産農業所得4億6千万円③販売経営体数) 平均農業所得は②/③

施策15

第3セクターの経営改善の推進

経費削減と施設運営方針の見直しを行うと ともに、施設の計画的な改修を行います。 サービス向上による収入確保・人材の育成を 目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
単年度収支の黒字 継続	黒字	黒字を継続

施策16

移住定住の促進

公営住宅の建設等移住定住対策を進めます。 施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
田舎暮らしセミナー での移住相談数	2件/回	10件/回
人口の社会動態 (転入者-転出者)	-18.4人 (H21-25の平均)	±0人

農村の環境を生かした 村づくり

施第17

木島平ブランドの確立

米といえば木島平というように、全国的に知れ渡るブランド米の確立を図ります。米に加え、菌茸や野菜といった他農産物のブランド化も、様々な価値を提案しながら目指します。 施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
農業生産額(米)	60千万円	60千万円
農業生産額 (野菜·酪農)	71千万円	76千万円

施策18

農業の振興

- ・安心安全な農産物生産を行い、木島平ブランドの確立と農家所得の向上を目指します。
- ・農業後継者、新規就農者の支援を行い、農業の安定化を目指します。
- ・再生可能農地の再生を積極的に進め、そば、 大豆等の振興を図り耕作放棄地の解消を 目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
農業後継者 新規就農者数	5人 (H21~H25)	8人 (H27~H31)
耕作放棄地面積	146ha	120ha

施策19

林業の振興

誰もが木のぬくもりや山への親しみを感じ、奥 山から里山まで整備が進んだ村を目指します。 施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
森林整備	26ha	450ha
(間伐目標)面積	36ha	(H27~H31)

10

自然と文化をまもる

まもる視点の方針は、「自然と文化をまもる」です。 美しい自然と豊かな文化を維持することで、誇れる村を目指します。

人と地球にやさしい村づくり

施策20

環境にやさしい 未利用資源の利用促進

・各家庭において 環境に配慮した 再生可能エネル ギーを取り入れ られる村を目指 します。



・未利用資源を活用した中山間地域活性化の モデル的なケースとなる村を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
小水力発電施設の 建設	1基	2基
木質ペレットストーブ 等の家庭への普及	15戸	50戸 (H31まで)
公共施設·設備への バイオマスの活用	O施設	2施設

施策21

農村の原風景と環境保全の推進

農村の原風景を維持し復元するため、空き家 対策と外来植物の駆除を進めます。不法投棄 の監視体制を継続します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
木島平の住まいづくり 補助金の活用	1件	延べ10件
特定空き家の 認定と指導	0%	100%
外来植物 分布·把握	50%	100%
外来植物 駆除	20%	80%

施策22

ごみの減量化とリサイクルの促進

循環型社会へさらなる向上を目指し、資源の分別と生ごみの水切りや堆肥化などごみの減量化を行い、ごみ排出量を10%の削減を目指し、年1%ずつ削減していけるよう、検討・実践していきます。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
可燃ごみの減量 (年間1人当たり)	165kg	148kg (10%減)
不燃ごみの減量 (年間1人当たり)	11kg	10kg (10%減)







文化が薫るいきいきとした村づくり

施策23

暮らしに基づく 文化活動の拡大と振興

文化の継承と暮らしに根ざした活動を通じて、 生活に花と豊かさをもたらします。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
郷の家来場者数	2,151人	3,000人
中町展示館来場者数	3,446人	3,500人



施第24

文化財の保存と活用の推進

保存されてきた文化財を後世に伝えるとともに、村のPRの手段のひとつとして活用し、訪れる人々に木島平村の歴史と文化を堪能できる村づくりを目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
ふるさと資料館の 来館者数	550人	1,100人







人と地域をつなげる

つなげる視点の方針は、「人と地域をつなげる」です。 人と地域をつなげることで、助け合いながら楽しく過ごせる村を目指します。

活力いつぱいの集落・村づくり

施策25

集落の維持と強化の推進

住み続けたい、残していきたいと思えるような 集落づくりを進めていきます。自治の基本で



ある消防やお祭りなどコ ミュニティ活動参加につ いて積極的な呼びかけ を行い、村民同士の交 流・コミュニケーション の場づくりを進めます。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
協働のむらづくり 支援金活用状況 (地区団体)	6団体	8団体

施策26

人権が尊重される 村づくりの推進

村民一人ひとりの人権が尊重された共生の村づくりを目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
各分館での人権同和 教育学習会の 実施地区数	13地区	20地区

施策27

村民と協働による村づくり

男女共同参画のもと、女性の意見や活力を生か した村づくりを行います。職員全てが、村民と の協働により企画・立案した政策に基づいた 公共サービスを提供できる村民から信頼され る職員を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
政策能力向上研修	18人	30人







ふれあいと交流ができる村づくり

施策28

生涯学習の推進

村民一人ひとりがやりた いことを見つけ、活動の 一歩を踏み出せるような 施策の展開を目指します



施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
社会教育関係団体の 登録数	61団体	80団体

施策29

役場周辺整備の推進

役場庁舎は、単なる行政サー ビスを目的としたものではなく、



村民の安全をまもる防災の拠点、また多様な世代の出会いと交流活動の拠点が求められており、それらを踏まえた施設整備を目指します。

施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
役場周辺整備の推進	老朽化	建設に 向けた検討

若者のアイデアを生かした村づくり

施策30

若者のアイデアを生かした 村づくりの推進

- ・大学コンソーシアム参加者の組織化を目指します。
- ·コンソーシアム時以外の来村及び村への移住の 呼びかけを進めます。
- ・下高井農林高校との連携を深め、地域高校として 存続を求めていきます。



施策の目標

項目	現況(H25)	目標値(H31)
大学コンソーシアム 受入集落数	1地区	5地区

地区づくり計画 各集落テーマ

各集落では、各集落それぞれの将来像とそれらを実現するための地区 づくり計画を策定しました。集落の地区づくり委員及び村の地区づくり 担当者が、互いに知恵を出し合い地区づくり計画の推進に努めていきます。

下記は、各集落で掲げたテーマとなります。



「大塚・小塚・平塚 | と 区民が結ぶ伝統と ロマンの里 南鴨

南鴨

市之割

市之割

中町

水と緑と心のふるさと

笑顔あふれる



高石



住みよい豊かな環境 づくり



中島

自然と歴史の 故郷づくり





大町

安全・安心・楽しい 大町



柳久保

西町

大正公園の歴史で

築くふるさとづくり

千年の明日を目指して!

一人ひとりの知恵袋



山口 豊かな自然を子孫に



村の玄関口として 明るく住みよい環境

栄町



小見

栄町

木島平村役場

根塚遺跡 南鴨

木島平中学校●

市之割

中町展示館

西町

FARMUS木島平

●郵便局 中村

北鴨

高石

木島平

小学校

郵便局

大町

柳久保

木島平スキー場

下高井 農林高校 和栗

稲荷

稲泉寺

ケヤキの森公園

おひさま 千石

西小路

中島

山山

池の平

原大沢

部谷沢

樽川

内山

● 龍興寺清水

小見

和を持つてみんなで 造ろう水と緑の豊か な小見の里



中村

新たな出会い、和が つながる地域づくり



馬曲●郷の家



北鴨

ずーと住みたい、住 んでみたい村一番の 地区づくり



和栗

あかるい、住みよい 環境をつくり、子孫に 引き継ぐ



稲荷

区民の活力を生かし た元気な地区づくり



内山

和紙と清水の里 内山



平沢

豊かな自然、ゆとりと



馬曲

絆でつなぐ歴史の 郷・エコな馬曲づくり



安心、いきいき平沢



ホタル飛びかう



上千石

がんばろう 元気の 維持する上千石



千石

千石の郷



暮らせる西小路



部谷沢

小樽清水の甲山づくり



池の平

豊かな自然との共生



農業と観光の融合、

糠千



誰もが訪れたい 清流の里 糠千

糠千

原大沢

福寿草に生きづく

ふるさとへの愛着

お互いに支えて

西小路





7 みんなの村づくり集会の 提案

村づくり集会の提案内容は、ワークショップ形式と 各チームで自主会を開催して話し合いを重ねて生み 出されました。木島平村の魅力や課題を、「自然」、 「食」、「暮らし」、「産業」、「ひと」の5つのテーマに分け、 自分たちが主体的に取り組むべき内容を中心に意見 交換を行い、最終的にいくつかの具体的な活動内容 が抽出されました。下記は、各チームが提案する活動 テーマ・内容となります。

産業チーム

■スキー場のにぎわいづくり

スキー場で星空ピクニック

木島平の自然を生かし、星の教室&星空観測を実施します。 じょんのびカフェ

スキー場の空いている店舗を借り、靴を脱いで上がれる カフェスペースをつくります。

■若者の働く体験の環境づくり

村営「仕事大学校」

村に古くから伝わってきた「農業・風習」を年齢性別を問わず 学ぶ場をつくります。

U /I ターン起業制度

仕事大学校で長期滞在した方やUターン/Iターン者を対象に、木島平村で起業をする場合に、優遇措置を講じてもらうように提案していきます。

■木島平産エネルギーづくり

ペレットストーブの普及

県産材のペレットをつかったストーブを普及させます。 **にこにこファームで電力をつくる**

村全体のエネルギー時給の第一歩としてにこにこファーム の電力を自給させます。

■村のワザ教室

おじいちゃんやおばあちゃんの知恵や技術を次の世代に 伝承します。「方言」「郷土料理」「わら細工」「編み物」などの 講座を実施します。

■新たな農業の育成

"A"級グルメのレストラン

村の農産物を豊富に使用した高級志向のレストランをつくります。

○婚式ツアー

大人夫婦を狙った郷土料理ツアーを企画する。「ゆったりと した時間」と「おいしく健康」をテー

マに、「懐かしの郷土料理」を提供します。

死ぬまでに一度は食べたい○○

木島平米の生産者のとっておきの食べ方を紹介します。高齢向けにもお勧めの郷土料理を提供します。





食チーム

■チャレンジ屋台

村民が好きなときに、小商いやイベントを行うアイデアです。屋台にすることで初期資金を抑えられ、お店に来てもらうのではなく、村内の各地に赴くことができます。

■村のお土産づくり

村に来た人が家族や友人に送ったり、村民が紹介できる、お土産をつくります。

■木島平村レシピ

郷土料理を知っているおばあちゃんたちから、調理方法を聞き出し、村のレシピをつくります。

■村の暮らし弁当

木島平村レシピを活用した、日替わりの 「村のお弁当」を、地域のお母さんたちと つくります。旬の食材を使った木島平村 の料理をふんだんに盛り込みます。



暮らしする

■村を知る検定&

ウォーキングマップづくり

ウォーキングマップの作成

自然、村自慢の景色、文化財の位置が分かるマップを作成し、 史跡の整備、保全等も行います。

木島平村検定作成

ウォーキングマップ作成の過程で、珍百景、言い伝え、方言 といった検定も作成します。

■親子で村の体験学習

季節ごとの農業、娯楽、伝統文化、学習教育などを親子で体験し、楽しみながら子育てを豊かにできる場をつくります。



■みんなでふれあう場の育成

1. ふれあい喫茶

フリーマーケット、直売など利用者の好きなことができ、 誰でも利用できます。おじいちゃんおばあちゃんが子どもの 面倒をみてくれます。

2. みんなのお店

近隣の人が日常生活に必要なものが買える場をつくります。
3. みんなの食堂

独り暮らしの高齢者に、美味しく、格安の食事を提供します。 農家から野菜を提供してもらいます。

4. ふれあいランチ

外出できない人に向けた宅配食サービスを行います。

■新たなコミュニティ交通の運行

現行のデマンド交通より、誰でもが使いやすい・乗りやすい 交通手段にします。

自然チーム

■オラが教える 自然教室



ベテランの村民だけが知る自然を これからも残すため、自然と村民 との出会いの場をつくります。

■花いっぱい・ 元気いっぱい活動

村花である福寿草を各家庭または 小学校、保育園に配布して育てる ようにします。

■木島平の隠れた名水の散策

木島平の名水の散策を企画したり、水マイスター制度をつくります。

■子どもの頃の風景づくり

ホタルに関心・知ってもらう講座を開催したり、ホタルの 育て方を確立します。

■みんなで里山管理

動物と人とが協働して里山管理できる仕組みをつくります。

■木島平からの贈り物

木島平産で贈り物を制作します。箸+和紙·さをり織り ケースを、卒業記念品や転出する方にプレゼントします。

ひとナーム

■むらじゅうサロンで交流促進

木島平小中学校の空き教室など様々な場所にサロンを 広げていきます。目的がなくても立ち寄り、人と触れ合う ことができる場所にします。

■村の暮らしをまなぶ学校

村民による村民のための学校を作ります。

- ・木島平村の農業やスキーなど「木島平村の基礎」
- ・生活のなかで役立つ「カルチャースクール」
- ・リーダーやコーディネーターを育成する「人材育成」などの学びの場づくりを行います。

■むらびと図鑑の制作

子どもたち向けの地域教育のために、人材把握を兼ねて 「木島平村人材データベース」をつくります。



■結婚の世話焼き屋さんの育成

村の中で男女が自然な形で出会う場づくり企画できる人材を育成します。

木島平村総合振興計画の策定の経過

村政運営は、村民の視点に立ち、村民の参画と協働によって進めていく必要があります。

そのため、第6次総合振興計画は、公募等による村民と村職員の約50人で構成された「木島平村みんなの村づくり集会」や地区ごとに構成された「地区づくり委員会」など、素案作成段階から多くの村民を交えて検討を行い、それらの意見や提案を計画に反映しています。

本計画の策定にあたり、木島平村みんなの村づくり集会、 地区づくり委員会、木島平村振興計画審議会など、ご協力いた だきました多くの皆さんに感謝申し上げます。

木島平村第6次総合振興計画概要版

発行日 平成27年9月発行

発 行 長野県下高井郡木島平村

木島平村総務課 政策情報室

₹389-2392

長野県下高井郡木島平村大字往郷973-1

TEL.0269-82-3111

FAX.0269-82-4121

ホームページ http://www.kijimadaira.jp/